

代謝系疾患

アミロイドーシス

1. 概要

アミロイドーシスとは、アミロイドと呼ばれる線維状の異常蛋白質が沈着して臓器の機能障害を引き起こす病気の総称です。家族性アミロイドポリニューロパチー(FAP)や老人性全身性アミロイドーシス(SSA)、AA アミロイドーシス、ALアミロイドーシス、透析アミロイドーシスなど、全身の様々な臓器に沈着する全身性アミロイドーシスと、アルツハイマー病や脳アミロイドアンギオパチーなどのように、ある臓器に限局して沈着する限局性アミロイドーシスに分けられます。

2. 疫学

国内に、FAP、SSA、AL アミロイドーシス、AA アミロイドーシス、透析アミロイドーシス患者がそれぞれ数百人から千数百人程度、存在すると考えられています。

3. 原因

アミロイドーシスの種類によって原因は異なります。加齢、遺伝子変異、腫瘍、炎症などが原因となる可能性があります。いずれの場合もアミロイドが臓器に沈着することで病気を引き起こします。

4. 症状

全身性アミロイドーシスでは、心臓の障害（心不全症状や不整脈）、腎臓の障害（腎不全やネフローゼ症候群）、消化器症状（下痢や便秘、嘔気・嘔吐）、末梢神経障害（手足のしびれや感覚の鈍麻、筋力の低下など）、自律神経障害（立ちくらみ、排尿障害、発汗障害、勃起障害など）がしばしば認められます。脳アミロイドーシスに関しては、アルツハイマー病では認知機能障害が、脳アミロイドアンギオパチーでは脳出血や脳梗塞といった脳卒中の症状が認められます。

5. 合併症

全身性アミロイドーシスでは、アミロイドの沈着に伴う様々な臓器不全症状の進行に伴い、全身状態が悪化し、感染症なども合併しやすくなります。

6. 治療法

アミロイドーシスの種類によって治療法が異なります。

FAP に対する肝臓移植、蛋白質安定化剤(ジフルニサルやタファミディス)、AL アミロイドーシスに対する化学療法、AA アミロイドーシスに対してはサイトカインを標的とした抗炎症薬が効果的な場合があります。根治的な治療が困難な場合も、有効な各種の対症療法があります。

7. 研究班

アミロイドーシスに関する調査研究班

（研究代表者） 安東由喜雄

（分担研究者） 池田修一、山田正仁、東海林幹夫、玉岡 晃、山田俊幸、高市憲明、内木宏延、飯田真介、小池春樹、島崎千尋、西 慎一、重松 隆、奥田恭章、畑 裕之、植田光晴